

91 人権・啓発関係文献目録

- 紋／封筒の「少時」は万年筆で書かれていた」
- ・山上益朗「狭山第2次再審棄却を批判する 弁護団による棄却決定批判 筆跡／大野鑑定は新規・明白な証拠だ」
 - ・組坂繁之／片岡明幸／中山武敏「狭山第2次再審棄却を批判する 狭山第2次再審請求棄却に抗議する／座談会」
 - ・石川一雄「狭山第2次再審棄却を批判する メッセージ／完全無罪まで闘い抜く」
 - ・鯉越益弘「狭山第2次再審棄却を批判する 棄却決定に思う 棄却決定の特徴と問題点」
 - ・青木 孝「狭山第2次再審棄却を批判する 弁護団による棄却決定批判 万年筆／決定はD刑事証言から逃げている」
 - ・部落解放同盟中央本部「人権擁護推進審議会の答申にたいする声明」
 - ・玉置哲淳「幼稚園教育要領と解放保育人権保育の骨組みを考える 幼稚園教育要領の改訂に際して」
 - ・「子どもの人権の具体的な提起を 幼稚園教育要領改訂を解放保育の視点で考える／座談会」
 - ・福島瑞穂「人権いろいろ／男女共同参画社会基本法を活用しよう」
『部落解放研究』125号（部落解放・人権研究所、1998年12月）
 - ・高野眞澄「国内人権機関に関する論点整理」
 - ・安田信之「オーストラリア人権委員会の改組の動向—1998年人権立法改正（第二次）法案を中心に」
 - ・野沢萌子「インドにおける連邦人権委員会—その設立の目的と意義」
 - ・友永健三「『日本の人権政策に関する提言—世界人権宣言50周年にあたって』試案」
 - ・八尾 勝「国連人権小委員会報告／海外レポート」
 - ・野口萌子「指定カーストおよび指定部族（アトロシティ予防）法1989／資料」
『部落解放研究』129号（部落解放・人権研究所、1999年8月）
 - ・下田平裕身「連合大阪・あいりん地区問題研究会編『日雇労働者・野宿生活者問題の現状と連合大阪の課題』／書評」
 - ・ジェファーソン・プランティリア「アジアの学校における人権教育の現状と課題／論文」
 - ・田上時子「フェミニストカウンセリング 堺DV研究プロジェクトチーム編『「夫・恋人（パートナー）等からの暴力について」調査報告書』日本DV防止・情報センター編『DV解決支援マニュアル～法律編～』／書評」
 - ・花崎陽子「参加型人権学習機会の保障に関する一考察 キリスト教系女子校の事例から／論文」
『部落解放史・ふくおか』92号（福岡部落史研究会、1998年12月）
 - ・金 龍 燮「差別的表現と表現の自由」
 - ・かとうよういち「「差別語」とはなにか～実りある論議のために～」
『部落解放ひろしま』40号（部落解放同盟 広島県連合会、1999年4月）
 - ・井清信恵「特集：女性共闘のいま① おんなが社会を変えられる？女が社会を変える！」
 - ・山下直子「特集：女性共闘のいま⑤ あらゆる政策決定の場に女性を」
『部落解放史ふくおか』93・94号（福岡部落史研究会、1999年6月）
 - ・イアン ニアリー／米村公江訳「中村正夫先生を偲ぶ現代日本の部落解放運動と人権／追悼論文」

- 争の課題／報告」
- 太田義明「丸子中学校のあいつぐ差別文書事件」
- 藤本忠義「連続差別脅迫事件の真相」
- 井戸木一英「『部落差別身元調査事件』の概要と今後の方向」
- 篠原春彦「福井県松岡町議会議員差別発言事件」
- 伊藤 満「差別事件と糾弾闘争の方向性について」
- ・「第13分科会：「国連人権教育10年」の啓発の課題／報告」
- 川端英志「人権教育のための国連10年」奈良県行動計画について」
- 小久保信蔵「滋賀県解放県民センターの現状と課題」
- 高橋孝吉「神奈川県人権センターの現状と課題」
- 古賀芳夫「千葉県人権啓発センターの現状と課題」
- ・「第14分科会：ケガレ観と日本の文化／報告」
- 長久晴躬「善隣協の韓国原爆被害者救済運動」
- 玉光順正「真宗大谷派におけるハンセン病問題への取り組みについて」
- 門馬幸夫「文化と行為における観念としての「ケガレ」(穢れ)」
- ・森田ゆり「エンパワメントと人権／特別講演」
- 『部落解放』451号(解放出版社、1999年3月)
- ・川村暁雄／石川えり／野沢萌子／金子匡良／土井香苗／山崎公士(司会)「各国の国内人権機関の「いま」～若手研究者がつなぐ人権の灯～」
- 『部落解放』452号(解放出版社、1999年4月)
- ・丹羽俊夫「人権と報道」
- 『部落解放』453号(解放出版社、1999年5月)
- ・東 栄蔵「『破戒』と部落問題」
 - ・師岡祐行「『破戒』と部落解放運動」
 - ・田中政明「経営戦略としての面接」
 - ・吉田永宏「日本文学史のなかの『破戒』」
 - ・部落解放同盟中央本部「人権教育・啓発の推進に関する法律の大綱(案)」
 - ・野田浩子「『家』制度と人権」
- 『部落解放』455号(解放出版社、1999年6月)
- ・森田ゆり「企業はセクシュアル・ハラスメントにどう対処すべきか」
 - ・三國連太郎／沖浦和光「アジア民衆文化の深層(上)／対談」
 - ・伊藤善規「『色覚異常』ってなんだ 色覚差別撤廃をめざして」
 - ・大賀喜子「ネットワーク「KAKEKOMI 寺一結婚差別」をご存じですか?」
- 『部落解放』456号(解放出版社、1999年7月)
- ・西川 潤「経済グローバル化と人権」
- 『部落解放』458号(解放出版社、1999年8月)
- ・部落解放同盟中央本部「人権擁護推進審議会の「答申案」に対する見解」
 - ・「人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本的事項について(答申案要旨)／資料」
- 『部落解放』459号(解放出版社、1999年9月)
- ・藤田一良「狭山第2次再審棄却を批判する 弁護士による棄却決定批判 被害者の死亡時期／殺害は5月1日ではない」
 - ・横田雄一「狭山第2次再審棄却を批判する 弁護士による棄却決定批判 殺害方法／殺害方法は絞殺である」
- 「狭山第2次再審棄却を批判する 弁護士による棄却決定批判 封筒宛名・指

- ・田中 了「[「アイヌ文化振興法」を考える
「アイヌ文化振興法」をめぐる動向と課
題—「先住民族の権利に関する国連宣
言」(案)とのかかわり—」
『部落』648号(部落問題研究所、1999年6
月)
- ・新谷一幸「広島修道大学懲戒事件高裁判
決」
『部落』651号(部落問題研究所、1999年8
月)
- ・佐野雅一「学費が払えず高校をやめなく
てはならないのはおかしい!! 全国私
教連・京都私学教職員組合の「経済的理
由での退学・学費滞納調査」結果より/
現地報告」
- ・丹波史紀「マスメディアに見る部落問題
マスメディアと「部落差別」」
- ・成澤榮壽「マスメディアに見る部落問題
価値判断独占者のマスコミ支配」
- ・村下 博「マスメディアに見る部落問題
マスコミの日本的体質と部落問題報道」
- ・植山光朗「マスメディアに見る部落問題
客観報道の原点に帰れ」
- ・山中 央「マスメディアに見る部落問題
マスコミ「自己規制」の現状から」
『部落解放』447号(解放出版社、1999年1
月)
- ・ニマルカ・フェルナンド/武者小路公秀
「グローバルゼーションと人権10周年
を迎えた「反差別国際運動」の任務/対
談」
- ・庭山英雄「狭山事件の証拠開示と国際人
権規約委員会」
- ・山成孝治「「猫皮三味線」がえぐる「深
層」」
『部落解放』448号(解放出版社、1999年1
月)
- ・浜田純一「情報化社会と人権」
- ・西岡 智「「寄せ場」労働者の現状と人
権」
- 『部落解放』449号(解放出版社、1999年2
月)
- ・岡本雅淳「人権の国際基準とのズレが明
らかに」
- ・辻本正教「部落差別とケガレ観」
- ・池内尚郎「2001年反人種主義世界会議に
むけた課題」
- ・元木 健「日本に人権文化を築くため
に/インタビュー」
- ・友永健三「世界人権宣言50周年と人権教
育のための国連10年」
- ・福本英子「先端医療技術と人権」
- ・乾 武俊「被差別民衆の文化その伝承と
再創造」
- ・三宅都子「被差別部落の労働と文化」
- ・阿久澤麻理子「「参加型学習」の思想と課
題」
- ・鄭 早苗「在日韓国・朝鮮人の歴史と課
題」
- ・内野淳子「男女雇用機会均等法の改正と
女性労働の課題」
- ・西川喜美子/川内谷博/清水達夫「精神
障害者の現状と人権」
- ・男女共同参画ビジョン(平成8年答申抜
粋)」
『部落解放』450号(解放出版社、1999年2
月)
- ・イーデス・ハンソン「日常から人権を考
える/記念講演」
- ・北口末広「部落差別身元調査事件につい
て/特別講演」
- ・川向秀武「「人権フォーラム21」からのア
ピール/特別報告」
- ・「第4分科会：狭山再審闘争の課題/報
告」
中山武敏「狭山再審事件の現状と課題」
庭山英雄「マーシャル事件と狭山事件」
石川一雄「再審開始にむけて・私の闘い」
石川早智子「一人ひとりの力を集めて」
・「第5分科会：差別事件の実態と糾弾闘

- ・宮崎繁樹／江橋 崇／組坂繁之／福田雅子「これからの人権啓発・人権教育」
- ・炭谷 茂「社会保障における人権論 第4回 人権確立のための基本条件」『月刊ヒューマンライツ』134号（部落解放・人権研究所、1999年5月）
- ・田上時子「子どもと暴力・考 第11回 子どもへの暴力防止策の間違い」
- ・窪 誠「各国の国内人権機関 第4回 フランス—行政主導のフランス国内人権機関」『月刊ヒューマンライツ』135号（部落解放・人権研究所、1999年6月）
- ・田上時子「子どもと暴力・考 第12回 CAPプログラム」
- ・金子匡良「各国の国内人権機関 第5回 カナダ—独立性と権限の向上を図る人権委員会」
- ・森田ゆり「多様性トレーニングガイド 人権教育リーダーを育てる 第12回 気づきのトレーニング：その4 障害の壁を降ろす」
- ・喜多村俊樹「日本初、全放送局への人権アンケート2」
- ・北口末広／川越利信「情報化時代の人権 被差別者からの発信／対談」『月刊ヒューマンライツ』136号（部落解放・人権研究所、1999年7月）
- ・友永健三「人権擁護推進審議会の「答申案」の問題点について」
- ・森田ゆり「人権派は子どもをだめにしたか」
- ・大阪府福祉施設等設置に係る人権摩擦（施設コンフリクト）検討会議「施設コンフリクトの解消と人権が尊重されたまちづくりに向けた大阪府の基本的考え方について（報告書）／資料」
- ・小澤 温「精神障害者への差別を助長する「住民合意」にメス 大阪府精神福祉審議会答申・施設コンフリクト大阪府報告書の意義」
- ・磯崎由美「なぜ人々は施設設置に反対するのか 精神障害者を排除する論理」
- ・炭谷 茂「社会保障における人権論 第6回 サービスの質を高める」『月刊ヒューマンライツ』138号（部落解放・人権研究所、1999年9月）
- ・上杉孝實／石井宣明／阿久澤麻理子／川村暁雄／柴田昌美「答申を読む 人権擁護推進審議会答申を読む」
- ・友永健三／藤崎哲幸／中川節生「人権行政確立の課題を考える 第13回 人権啓発研究集会・第6分科会」
- ・辻 暉夫「部落解放運動は今 新しい風 41 許されざること許されること」
- ・田上時子「子どもと暴力・考 第14回 援助交際」
- ・森田ゆり「多様性トレーニングガイド 人権教育リーダーを育てる 第14回 男女の性差について考える」
- ・太田心海／沖浦和光／村越末男「佐賀の被差別部落の歴史・宗教・文化 第13回 人権啓発研究集会・文化講座①」『ひょうご部落解放』87号（兵庫部落解放研究所、1999年5月）
- ・東野正尚「介護保険の課題と展望 人権問題講座講演より 自立支援と人権の視点から」
- ・八幡隆司「介護保険の課題と展望 障害者解放運動の視点から見た介護保険」〈フ〉『部落』644号（部落問題研究所、1999年2月）
- ・吉原 稔「明治憲法の遺制を終焉させた違憲判決～滋賀献穀祭違憲訴訟～」『部落』645号（部落問題研究所、1999年3月）
- ・大関清子「女性と人権」『部落』647号（部落問題研究所、1999年5月）

- ・奥山峰夫「世界人権宣言50周年と人権擁護推進審議会の議論」

<ケ>

『研究紀要』6号(奈良県立同和問題関係史料センター、1999年3月)

- ・奥本武祐「盆地部大和における真宗教線の展開過程・序説「かわた」村への教線展開解明のための前提的作業」

『研究紀要 解放研究とっとり』1号(鳥取県部落解放研究所、1999年3月)

- ・浅井隆夫「同和問題と企業啓発の課題」

<コ>

『子ども論』148号(クレヨンハウス、1998年2月)

- ・「インドの子どもたちが語る「児童労働と働く子どものためのNGO活動」」

<シ>

『滋賀の部落』286号(滋賀県同和問題研究所、1998年11月)

- ・野田正人「「子どもの権利条約」の勧告・提言を読む」

『滋賀の部落』292号(滋賀県同和問題研究所、1999年4月)

- ・川辺 勉「「人権教育」の強調と体験的参加型学習の諸相(3)」

- ・藤井伸生「地域や家庭での人権問題—滋賀県日野町調査を手がかりに」

『滋賀の部落』297号(滋賀県同和問題研究所、1999年9月)

- ・部落解放同盟中央本部「人権推進審議会の答申にたいする声明／資料1」

「人権擁護推進審議会の「答申案」にたいする見解／資料2」

- ・全国部落解放運動連合会中央執行委員会「人権擁護推進審議会「答申案」に対する全解連の見解と意見／資料3」

- ・「人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本的事項について／答申」

<ヒ>

『月刊ヒューマンライツ』129号(部落解放・人権研究所、1998年12月)

- ・川村暁雄「人権をルールとした社会づくり—国内人権機関の構想」

- ・友永健三「第1回カースト差別撤廃世界会議に参加して」

- ・文鐘聲「こんなこと知っていましたか?—国連子どもの権利委員会でマイノリティの権利訴え」

『月刊ヒューマンライツ』130号(部落解放・人権研究所、1999年1月)

- ・浜田純一「インターネットと人権—「表現の自由」VS「差別表現の規制」の枠組みを考える」

- ・土井香苗「各国の国内人権機関 第1回 スウェーデン—スウェーデンの人権擁護」

- ・木村達也「シリーズ差別身元調査事件を考える：採用時の身元調査」

- ・赤井隆史「シリーズ差別身元調査事件を考える：部落解放運動は今—新しい風(33) 差別身元調査事件、その後」

- ・森田ゆり「多様性トレーニングガイド—人権教育リーダーを育てる 第8回 アイスブレイカーその1」

『月刊ヒューマンライツ』131号(部落解放・人権研究所、1999年2月)

- ・田上時子「子どもと暴力・考 第8回 被害者へのサポート体制—カナダの実践」

- ・河村浩城「各国の国内人権機関 第2回 ドイツ—身近な裁判所と外国人協議会」

『月刊ヒューマンライツ』第132号(部落解放・人権研究所、1999年3月)

- ・川村暁雄「各国の国内人権機関 第3回 オーストラリア—白豪主義から人権保障の国へ」

『月刊ヒューマンライツ』133号(部落解放・人権研究所、1999年4月)

- ・「確定判定の事実認定が全面崩壊」
- ・部落解放同盟中央本部「人権擁護推進審議会の「答申案」にたいする見解」
『解放新聞』1926号(解放新聞社、1999年7月)
- ・「人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本的事項について／答申案要旨」
『解放新聞』1930号(解放新聞社、1999年8月)
- ・「確実に東京高裁を追いつめる」
『解放新聞』1931号(解放新聞社、1999年8月)
- ・部落解放同盟中央本部「人権擁護推進審議会の答申に対する声明」
『月刊解放の道』179号(全国部落解放運動連合会1998年12月)
- ・自由法曹団／全国部落解放運動連合会／全日本教職員組合／日本自治体労働組合連合会／日本婦人団体連合会「教育及び啓発の審議に関する留意事項について人権擁護推進審議会懇談会」
『月刊解放の道』181号(全国部落解放運動連合会、1999年2月)
- ・中村五雄「「審議会」は「人権」をどこに導くのか」
『月刊解放の道』182号(全国部落解放運動連合会、1999年3月)
- ・奥山峰夫「人権擁護推進審議会「意見要旨集」を読む」
『月刊解放の道』183号(全国部落解放運動連合会、1999年4月)
- ・人権擁護推進審議会「議事要旨 ①人権擁護推進審議会第19回議事要旨 ②人権擁護推進審議会第20回議事要旨」
『月刊解放の道』184号(全国部落解放運動連合会、1999年5月)
- ・人権擁護推進審議会対策懇談会／全国部落解放運動連合会／自由法曹団／日本自治体労働組合総連合／全日本教職員組合／日本婦人団体連合会「1999年4月28日 人権擁護推進審議会会長 塩野宏様 人権擁護推進審議会の議論に関わって一人権教育・人権啓発に関する要望一」
- ・西村導郎「「解同」顔負けの「言葉狩り」と異常な職員研修を強める高知市」
『月刊解放の道』185号(全国部落解放運動連合会、1999年6月)
- ・「国連と NGO の協議関係」
『月刊解放の道』186号(全国部落解放運動連合会、1999年7月)
- ・大竹秀樹「拷問及びその他の残虐な、非人道的なもしくは品位を傷つける取扱い又は刑罰を禁止する条約(拷問禁止条約)について」
- ・「人権擁護推進審議会 答申案「諮問第1号人権尊重の理念に関する国民相互の理解を深めるための教育及び啓発に関する施策の総合的な推進に関する基本事項について」／資料」
『月刊解放の道』188号(全国部落解放運動連合会、1999年9月)
- ・鈴木亜英／工藤 毅／生田周二／丹波正史(コーディネーター)「「人権教育・啓発」を問うー「人権審議会」答申案をめぐって／シンポジウム」
- ・新井直樹「「人権教育のための国連10年」に関わる「国内行動計画」や自治体版「行動計画」の問題点について」
〈キ〉
『紀要部落問題研究』145号(部落問題研究所、1998年12月)
- ・古川利通「「問題・差別表現」と「思想・表現の自由市場」論」
『教育と人権の問題点』643号(部落問題研究所出版部、1999年1月)
- ・加藤西郷「宗教界の動向ー自由な交流と対話の「拒否」と「始まり」」

資料

人権・啓発関係文献目録

(1998年12月～1999年10月)

以下の目録は、本号特集の一環として、概ね1998年12月から1999年10月の間に発表された論文を対象に、部落問題・人権関係逐次刊行物のみを刊行物名の50音順に掲載した。

部落問題・人権関係逐次刊行物

〈ア〉

『明日を拓く』28号(東日本部落解放研究所、1999年3月)

・吉田健介「第12回研究者集会からメディアと冤罪 研究者集会・狭山分科会報告」

『明日を拓く』29・30号(東日本部落解放研究所、1999年3月)

・門馬幸夫「『今日の部落問題を考える新しい研究・実践の視点から』パートII 第1講／宗教と部落問題 ケガレ論を中心に」

・川向秀武「『今日の部落問題を考える新しい研究・実践の視点から』パートII 第4講／同和教育を機軸とした人権教育の創造を 国連人権教育10年に寄せて」

〈カ〉

『解放教育』373号(明治図書、1999年1月)

・人権フォーラム21教育啓発部会「資料差別撤廃にむけたこれからの人権教育・啓発に関する施策の基本的方向について／草案(下)」

『解放教育』374号(明治図書、1999年2月)

・北口末広「差別身元調査事件が提起するもの」

『解放教育』376号(明治図書、1999年4月)

・「『人権フォーラム21』—ニュースの窓— 『第2回総会議案書』より／資料」

『解放教育』380号(明治図書、1999年8月)

・森 実「差別の表現を改めてとらえるた

めに—2人の若者の論文を土台に」

・園崎寿子「児童買春・児童ポルノ禁止法成立／緊急レポート」

『解放社会学研究12』(日本解放社会学会、1998年12月)

・山田富秋「『障害と文化』：『障害の文化』の論争点」

・ましこひでのり「『障害と文化』：障害者文化の社会学的意味」

・倉本智明「『障害と文化』：障害者文化と障害者身体一盲文化を中心に」

・金澤貴之「『障害と文化』：聾文化の社会的構成」

『解放新聞』1916号(解放新聞社、1999年4月)

・藤井治夫「新ガイドラインと周辺事態法の危険性② アメリカのいいなり新ガイドライン」

『解放新聞』1917号(解放新聞社、1999年4月)

・藤井治夫「新ガイドラインと周辺事態法の危険性③」

『解放新聞』1918号(解放新聞社、1999年5月)

・藤井治夫「新ガイドラインと周辺事態法の危険性④ ここまできている戦時立法」

『解放新聞』1922号(解放新聞社、1999年6月)

・「ヒューライツ大阪教員トレーニング・アジアの学校で人権教育のすすめ」

『解放新聞』1925号(解放新聞社、1999年6月)